岳南會ニュース

第22号
発　行
平成24年1月1日
長野県野沢北高等学校
TEL　0267(62)0020
岳　南　会
TEL･FAX　0267(63)6664
印刷　㈱佐久印刷所

望む紺碧、岳南の空

岳南会会長
沼田　秀人（46回）

頌春

常日頃の、各位のご協力に心から感謝申し上げます。

昨年は東北の大震災、台風、TPP、円高等、政治経済を揺るがす世情、混乱多発の、一年でありました。

僚友校、南高の創立百周年の祝事祭典がありましたが、岳南会としては、創立百十周年の、記念すべき年でしたが、式典等の行事は自粛し、生徒のため、各教室に、大扇風機を設置し記念とさせて頂きました。

懸案の高校再編、学有林の名義変更等、すべて決着し、安心と共に、報告する次第です。

私の任期も、僅かとなりました。心残す事もなく、ほっとしております。

これからの北高の展望について、少子化に如何に対応すべきかが、一番の心残りです。通学区の改革により、他高に通学可能となり、駅からの遠隔地にある事、進学、運動に有力な私学が近くにある事等が、思考されるのです。母校の将来について、中高一貫研究委員会、職員による、将来構想委員会、評議委員会等の活躍に、期待する所、大であります。

さて、本年、内規申合せにより、五年毎の会員名簿発行、の年となりました。友人知人の所在等の確認に、ご利用下さい。

本年も、一層のご健勝を祈り年頭のご挨拶と致します。

支援をバネに

学校長
髙見澤　正彦

謹賀新年

皆様方の温かいご支援を心より御礼申し上げます。本年度は創立百十周年記念事業としてPTAのご賛助も賜り、全ての教室に天井据付扇風機を設置していただきました。昨夏は観測史上最悪の酷暑となり、本校での授業もうだるような暑さに大変難儀を致しました。本年度も昨夏の再来が心配されましたが、6月末の日輪祭までに工事が完了致し、以後、在校生は快い風のもと努力精進の日々であります。冬のストーブ使用時も、時々、天井の熱を循環することにより、熱効率や足元を暖める効果もございます。在校生は、先輩の皆様からの支援を有難く心に留め、快適な環境を「人間としての実力養成」の場となし、やがて「社会へ貢献する力」に変えてくれると信じています。

さて、「東日本大震災」は、「未曾有」や「想定外」の言葉通り、被災状況は筆舌に尽くせぬ凄惨なものでした。被災して究極状況に身を置かれてもなお凛として規範・礼節・道徳観を行動に伴う人々の姿は、脈々と受継がれてきた躾や教育、我が国の風土や文化、更には、お互いの絆を大切にする社会基盤から培われた「共助の精神文化」の重さを改めて考えさせられました。

復興に向けた支援や叡智は、国内のみならず海外からも被災地に向けられ、次第に具現化されようとしています。同窓生各位におかれましては、計り知れぬ自然の力を見せつけられた今、ここまで培ってこられた各々の分野での力を「自然との共生」や「人との絆」を中心に据えた社会・科学の発展に大いに注ぎ込んでほしいと願うものであります。皆様方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

平成23年総会報告

岳南会役員改選が任期満了につき行われ現役員がそのまま再任された。

会長　沼田　秀人（46回卒）
副会長　高見澤俊雄（51回卒）
副会長　井出　公陽（51回卒）
副会長　岩間　辰志（54回卒）
東京岳南会会長
副会長　小宮山みよ子（60回卒）
副会長　高見澤正彦
野沢北高等学校長

主な議案報告は学校所有林の名義変更・中高一貫教育研究委員会の進捗状況の説明であった。

記念行事はここ数年講演と公演を交互に実施してきた。本年は慣例にならい公演が実施されテノール歌手倉石真氏（84回卒）をお招きした。倉石氏は母校の為にと公演を快諾され、前日からお越しくださり会場の音響効果を伴奏者の方と確かめ照明などにも配慮されていた。高校時代は吹奏楽班に所属されていたこともあり、吹奏楽班とのコラボレーションも承知して頂き、音合わせのために北高の音楽室にて吹奏楽班との練習を重ねられた。そのようなプロ魂、そして心配りが素晴らしい公演へとつながり、多くの来場者に大きな感銘を残して下さった。

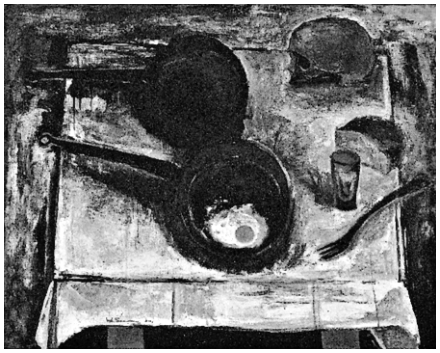
若いテノール歌手の今後の活躍を願ってやまない。

倉石氏と吹奏楽班の共演

岳南ネットワーク

青春回想

桜井　寛


桜井　寛《静物・二つのフライパン》2001年制作

このたび佐久市立近代美術館で大きな回顧展を開催していただいた。この回顧展は10月から12月までの長期で油彩画59点、素描27点が展示された。久しぶりに見る19歳の若い頃から80歳の今寿までの作品はなつかしい郷里へのささやかな返礼であったのかも知れない。さて自分の作品の前にたたずんだり、近づいたりしているうちに薄暗い美術館の壁にかけられた作品が、ある時は濃密に思い出を語りかけて来たり自分の足あとをたどる上に欠かせない作品に出合へたことはうれしい事であった。

昭和20年狂気の太平洋戦争が終りその頃佐久地方にも大勢の画家が疎開していた。日本画では、奥村土牛、洋画では有島生馬、野口彌太郎、東郷青児、加藤陽といった人達でこの人達と地元の画家の荻原孝一、日向裕といった人達の間に交流が生まれ活気のある美術界となっていった。そんな中で青春期を迎えた私達にとって正に刺激的なところとなった。

野沢北高のある野沢町には有島生馬先生がおられ、北高美術科の荻原孝一先生との交流が生まれ荻原先生は中央の美術団体にいち早く出品されていた。又荻原先生は我々に美術学校時代（現芸大）の頃の石膏デッサンを展示してくれたりして熱心に指導してくれた。皆んな競い合って裸電球の下で夢中で絵を描いた。校内展が発展し、町の公会堂で年一度の貧しいが熱気のある展覧会をつづけた。有島先生は賛助出品に滞欧作「ナポリの女」四号の絵を快く貸して下さり私達を励ましてくれた。有島・荻原両先生を中心にして高校生の作品の並んだ会場は晴々しかったこと。先生方の輝いた色彩、生気のある表情を今も忘れない。

桜井　寛《戸隠風景》1954年制作

臼田町には奥村土牛先生がおられ、長男の昭君が私のクラスに編入し、すぐ仲良しになった。奥村家にもよく遊びに行ったが、先生は草花のスケッチを丹念にされていた。恥かしいことに当時画家とはいつも絵だけを描いている人種であるとは夢にも思わなかった。しかし本格的に絵の修業に入って見て画家とは常に描き、そして考える存在であると。そして絵画の世界の奥深さを思い知らされたのである。しかし想う、あの青春の強烈な矢のように過ぎて行ったひと時が私の心の支えであると。

このたび佐久市立近代美術館で開いた展覧会を通し、この秋の美しい信州の山々の紅葉を見るにつけ私はここで生まれここで育った幸せをしみじみと感じたのである。

平成24年度 総会のご案内

期日　一月五日（木）
午後一時開会

場所　佐久グランドホテル二階
（佐久市中込三―一九―八）

議事
所有林名義変更の完了報告、
会務・会計決算・予算他

記念行事
（第一部）記念講演
演題：『私の幻想絵画について』
山本　文彦氏（51回卒）
（日本藝術院会員・筑波大学名誉教授）
（第二部）ブラスバンド演奏
野沢北高校吹奏楽班
○懇親会（一六時三十分～）
懇親会費　５０００円

創立百十周年記念設置の扇風機

支部だより

長野支部

昭和40年卒（第61回卒）の高見澤賢司と申します。２０１０年度から長野支部長を仰せつかりました。歴代支部長さんのお名前を拝見しますと、「私でいいのか」という思いが大変強くいたします。力不足を承知の上で、野沢北高を母校とする方々の出会いの場作りに少しでもお手伝いできれば、と思いこの役をお引き受けいたしました。

２０１１年1月12日、長野市は雪の舞う寒い日でした。沼田会長、碓井先生をお招きして、長野駅前のホテル「メトロポリタン長野」で支部総会を開催しました。出席者は66名、内16名が女性だったことがまず特筆事項です。また、平成以降の卒業生が12名、これもうれしいことでした。昭和17年卒（第37回卒）の中澤泉さんの乾杯で歓談が始まりました。各テーブルで話の花が咲き、テーブルを離れては同期、同郷、仕事関係、クラブの先輩後輩などいくつも話の輪ができ、今までになく華やかな雰囲気で、2時間はあっという間に過ぎてしまいました。場作りをした者としては大感謝です。

今回の開催に当っては、２００７年の岳南会名簿をベースに案内状をお送りしました。その数は、長野市だけでなく北信にお住まいの方々約４００名。当日は、住所が北信以外でも、職場が北信にある方々も含めて参加いただきました。

3年前の名簿ということもあって、特に若い方を中心に「あて所にたずねあたりません」というケースも50件ほどありましたが、考えてみれば、反対に、この3年の間に北信地域に来た方も多いはずです。岳南会の名簿にも住所欄が空欄の方も少なくありません。北信地域で今回御案内がいかなかった場合は、私、高見澤（０２６－２４３－３８５２）に御一報いただくか、次回開催時に、どなたか同窓の方と連絡を取っておいでいただけたらと思います。この記事をお読みの皆さんが出張で長野に来て、ついでに総会に出席していただけるなら、それも大歓迎です。広く、ゆるくお集まりいただける場にしたいと思います。

年に一回は総会を開くつもりです。時期は寒いですが、今回のように1月がいいのかもしれません。次回にはより多くの皆さんとぜひお会いしたいと思います。

東京岳南会

記念すべき第50回東京岳南会総会は昨年6月4日に本校及び野沢南高からのご来賓を迎え、１００名を越える参加者を得て盛大に開催されました。

岩間辰志会長（54回）からご挨拶のあと、スケート3、０００メートルの日本記録保持者菊池萌水さん（１０７回）や日本藝術院会員に選出された洋画家山本文彦さん（51回）など著名な活動をされている方々の紹介があり、またミニ講演会では作詞家いではくさん（56回）から「北国の春」の作詞にまつわるエピソードをお話しいただきました。席上会長から、この総会で出会った同窓生同士が秋に結婚されるという話が突然披露され、同窓会の持つ意外な機能を再認識する場面もありました。

岩間会長（写真提供 田島 恒氏(55)）

東京岳南会は同窓のコミュニケーションの場となるべく、より活発な活動をしてゆくことを目標に掲げ、9月17日に元時事通信モスクワ支局長の中澤孝之さん（49回）に「ロシア革命で活躍したユダヤ人たち」と題する講演をしていただきました。是非続編を、との希望で、今年3月初めのロシアの大統領選挙後、新大統領のもとでの内政、外交についての分析を3月中旬に講演していただくことになっています。

このほか年末には忘年会を行い、さらにこれら行事、活動をタイムリーに会員に案内、公開してゆくべく、昨年立ち上げたホームページの充実と、Eメールによる連絡体制の構築に取り組んでおります。行く行くは部会（ゴルフ部会等）を設けて同好の士の集まりの場とするべく企画を温めております。各行事には、東京岳南会以外の同窓の方々の参加も大歓迎ですので、お暇な折に東京岳南会のホームページ（http://tokyo.gakunankai.com/）を覗いてみてください（幹事長小井戸大介記）。

東京岳南会 第51回総会ご案内

日時　2012年6月9日(土)
午後2時～

会場　日本教育会館・喜山倶楽部
東京都千代田区一ツ橋2-6-2
Tel　03-3262-7661

第一部（午後2時～）
総会・ミニ講演会
第二部（午後3時～5時）
懇親会

会費　7,000円（懇親会費・通信費など）
2,000円（学生）
新会員（当年高校卒業生）はご招待

当番幹事　74回（昭和53年卒）
84回（昭和63年卒）
94回（平成10年卒）
104回（平成20年卒）

連絡先　東京岳南会幹事長
小井戸大介 03-5651-3300
090-5442-0633

卒業30周年記念事業および記念式典

第76回卒業生（昭和55年卒業）は、平成23年8月6日佐久グランドホテルにおいて、卒業30周年記念式典及び同窓会を開催しました。来賓として、沼田秀人岳南会長、髙見澤正彦学校長、恩師として、宿岩多計志先生、原直巳先生、藤作敏一先生、藤沢平治先生、木村清志先生にご出席をいただきました。同窓生50余名の出席のもと、岳南会長及び学校長のご挨拶をいただき、母校への記念品目録を学校長に贈呈しました。今年度は、体育館用大型スクリーンを購入することとなりました。第75回卒業生が購入を計画しながら予算が足らず、今年度の賛助金と合わせて、すばらしい大型スクリーンを母校に掲げることができました。既に全生徒に向けて披露されており、近々記銘が入る予定です。式典後の記念同窓会では、海外から駆けつけてくれた同窓生もおり、再会した恩師や同窓生が和やかに歓談し、楽しいひとときを過ごすことができました。来賓には花束が贈呈され、一緒になってクラスごとに写真を撮り、恩師からご挨拶もいただきました。二次会、三次会と話が尽きず、忘れられない会となりました。（加藤和夫）

あの頃の思い出

ティンパニーとブラスバンド

－北高にもブラスの音を－

鷹野　邦人
（高57回、昭和36年卒）

今年も北高の同期会である三六会総会が10月15日に開催された。今回は卒業五十周年にあたるので、三十周年の時と同じように、母校に記念品を贈ることになっていた。恒例のH和尚の先導で、出席者全員による恩師と同級生の物故者に対する慰霊の読経があり、開式となった。式が進み、記念品の贈呈で紹介された品物は、吹奏楽班が希望していたというティンパニー3台であった。それを聞いた瞬間、北高にブラスバンド部を創ろうとした五十三年ほど前のことを思い出した。

私たちが入学した頃の北高にはブラスバンド部はなかった。それを意識したのは入学した年の夏だった。野球の東信大会の応援で上田球場へ行った時、相手方の応援はブラスバンドが鳴り響き誠に威勢が良い。それに対しわが方は、左手を腰にあて、右手に学生帽を握り、それを打ち振り学生歌を斉唱していた。いくら声を張り上げてもブラスバンドのような勢いはなかった。肝心の試合も負けたように思う。

私の卒業した中学校にはブラスバンド部があり、そこで活動した人たちが何人か北高へ入っていた。三年生で応援団長のK氏もそうで、応援もこれでは寂しすぎる、何とかしようと話し合った。しかし先立つお金がない。しかも楽器は高価ですぐに何台もそろえることは難しい。そこでまず、K氏たちの卒業記念に楽器を何台か寄贈し、それを何年か続けてもらえれば、ブラスバンド部ができるのではないか、ということになり、さっそくその年から実行してもらった。加えて学校側でも何台かの楽器を購入してくれ、また生徒会の支援もあって、その年、つまり私たちの二年生の時から北高にもブラスの音が響くようになった。メンバーは中学時代の経験者が中心で、私もその一員となり、音楽担当の永井彰先生、その後は藤森章先生にご指導いただいた。

ティンパニー贈呈の後に、サプライズが起きた。舞台正面の覆いが開けられると譜面台やティンパニーなどがセットされており、続いて吹奏楽班の現役生と指揮者の先生が入場してお披露目の演奏会が開催されたのである。演奏を聴きながら、これほど機知に富んだお礼を企画した関係者の配慮と、ほぼ五十年間、吹奏楽班として活動していてくれた後輩たちのことを思い、しばしの感動に浸った。

このサプライズに刺激されてつい、予定外の発言をしたいと司会者にお願いし、ブラスバンド部を創ろうとした頃のことを話してしまった。その発言は皆に昔を思い出させただけでなく、岳南会ニュース上にこの拙文があることに直結した。

ついでに述べれば、校歌ができたのも私たちが二年生の時である。創立六十周年記念事業の一環だった、と思う。たまたま生徒会の役員をやっていた関係もあって、校歌の作詞者である草野心平氏に、確か校長室でお目にかかった。当時の私は草野氏のことをよく知らなかったが、詩に込めた思いなどをお聞きしたように思う。この校歌ができる前の北高の「校歌」は学生歌である。私たちは、それが引継がれた記念すべき時の生徒だった。

三六会の宴会が始まって昔話などに花を咲かせていると、W君が、そういえば卒業式の時に楽器の贈呈をやらされたなあ、と言い出した。ここにも五十年前の自分を思い出した友がいた。ティンパニーの贈呈で五十年ぶりにあの頃がよみがえった。そしてそれが吹奏楽班となって育っている姿を見ることができたのは、幸いであった。しかしこの喜びを分かち合えるはずのK氏は、すでに鬼籍に入ってしまっている。

私にとって今回の三六会総会は、以前にもまして思い出深い会となった。

卒業50周年記念事業と三六会総会

野沢北高等学校の57回生は、昭和36年卒業し、251名の同期生は社会人そして大学へと巣立っていきました。20数年経った頃、大学を卒業して地元へ戻ったり転勤で地元に来たりの仲間が集まり10人余りで飲み会を兼ねた積み立て無尽の会ができました。三六会と名付けられた無尽の会の話しの中から第1回の三六会の同期会が昭和58年に開かれました。そして今年は29回目の三六会総会を開く幹事会の席で卒業50周年の記念事業をする事となり、母校と相談致しました所、吹奏楽部のティンパニーがなくて不自由しているとの事で、その楽器を贈る事を目標としまして募金をつのる事になりました。もう70に手の届く仲間からは果してどの位集るか心配しましたが、110数名の方に気持良く応じていただきました。中には遠く仙台から、おそらく震災に遇われただろうと思われる人より気持だけ送ってもらいました。本当にありがたい事です。目標を大幅に上回る120万円余りの寄附金をいただき、本校に3台のティンパニーを贈る事ができました。10月15日に佐久平プラザHで行われた総会には68名もの参加がありました。来賓に同窓会「岳南会」の沼田秀人会長、髙見澤正彦校長、元中込座社長の関口茂利氏を迎え髙見澤校長に寄贈品目録をお渡しました。学校側の御心配りで寄贈されたばかりのティンパニーを使った吹奏楽部の演奏があり、参加者には大いに喜こんでいただけたと思います。卒業以来本当に50年振りという人達で会は大いに盛り上り、閉会後はそれぞれに二次会へと散っていきました。来年は三六会総会は30回を迎えることになりますが、今回同様皆が元気で多数参加できることを祈っております。

大塚　格

第十二回岳南会戦没者等 慰霊祭

日時　六月三日（日）十一時
場所　前山　貞祥寺本堂

十周年の節目を以て、山頂の慰霊碑の前での追悼式を休止し、毎年六月の第一日曜日の午前十一時に貞祥寺に参集、本堂で住職による読経を頂くこととなりました。

昨年は、関係者に通知を出さない初めての慰霊祭でしたが、佐久市長・岳南会長・学校長を初め大勢の方々のご参加を頂き、ともすれば忘れがちになる戦争の悲惨さを思い起こし、先輩達の遺徳を偲びながら追悼の会をすることができました。

今年も改めて通知は致しませんが、ご参加頂き戦没者等のご冥福をお祈りし、恒久平和を祈念いたしましょう。

尚、終了後有志にて会費制で食事会をいたします。用意の都合上前もって岳南会事務局までご一報頂ければ幸甚です。

慰霊碑護持会　井出公陽

岳南大学（キャリア教育）について

11月10日に1年生を対象に本校初の試みである岳南大学を行いました。これは「学ぶことと働くこと」をテーマに、同窓生や保護者の方を講師にお迎えし、働いている立場から生徒達に話をしていただくという企画でした。講師としてお招きした方は次の通りです。篠原秀郷氏（65回）小林慶志氏（71回）植松俊昭氏（72回）嶋崎秀樹氏（74回）藤島義昭氏（78回）柳澤潤吾氏（81回）柳田清二氏（85回）髙見澤美穂氏（90回）日向美佐江氏（保護者）。

講師の先生方にはお忙しいところ講師を快くお引き受けいただいたことに、この場を借りて御礼申し上げます。また同窓生の皆様、今後何かの折に同じようにお願いするかもしれませんが、その際はよろしくお願い申し上げます。

（三石　真一）

生徒に語りかける篠原氏

同窓の絆

◇二八会・喜寿のつどい◇

神部　五郎

春は弥生　秋紅葉
二八会のつどい　今ここに
腕組み肩組み　盃あげて
たがいの人生　振り返り
佐久平（さく）の想いを　語り合う

千曲川（ちくま）の流れ　よどみなく
二八会のつどい　なお続く
母校の庭で　学生歌
歌った青春　振り返り
佐久平の想いを　語り合う

浅間山（あさま）の煙　絶え間なく
二八会の絆　より固く
喜寿を迎えた　われら今
野北高（やこう）魂　振り返り
佐久平の想いを　語り合う

青空高く　胸を張り
恩師・先輩・そして親
感謝の気持ち　忘れずに
あの日あの時　振り返り
佐久平の想いを　語り合う

ああ　高原の日は輝けり

昭和28年卒業（第49回　高5回）の同期会を「二八会」（にっぱち会）呼んでいる。

毎年、春には東京で、秋には佐久で集いを催している。

佐久では今年で50回、東京では41回にもなる。これ程に続いている同期会も他に聞かない。この固い絆の想いを詩に詠んでみた。

僕は卒業後、北海道に渡り大学を卒えて教職の道に入る。定年退職後も札幌に住む。定年後はほとんど欠かさず、この同期会に出席している。詩は、千歳－羽田間を往復する飛行機の中で退屈凌ぎに「故郷は遠きにありて……」の思いをも併せて詠む。

ソーシャルネットワークで岳南会！

皆さんは、同級や同期の皆さんとどのように連絡を取り合っていますか？　インターネットなど情報通信基盤の普及により、人と人のつながりも以前と大きく変わってきています。いまや同級生や同期との連絡もメールが主流かと思いますが、この度、野沢北高校の卒業年次に関係なく交流できる場として「フェイスブック」というソーシャルネットワークサービスを利用して「野沢北高等学校岳南会」のグループをつくり、交流を始めました。発起人は、73回卒業（77年）メンバーでしたが、今や若い人から、中高年??まで広くメンバーが参加しております。

なお、フェイスブック岳南会は，野沢北高校や岳南会本会から承認されたとかいうオフィシャルなグループではありませんが、野沢北高校卒業生に限定し、現在約150名で真面目に交流しております。

フェイスブック岳南会加入ご希望の方は、まずは、「フェイスブック」のサイト（http://ja-jp.facebook.com/）フェイスブックアカウントをつくっていただき、卒業高校に野沢北高を記載いただいた上で、「小林克己」又は「土屋政紀」で検索をかけ、友達申請お願いします。

ぜひ皆さまご参加ください。お待ちしています。

73回卒　土屋政紀

全校第九合唱練習風景

57回生の卒業50周年記念贈呈のティンパニー

岳南会所有林名義変更　完了報告

このことについて、「岳南会ニュース」（前号）にて対応状況を報告しましたが、結果がでましたので、最終報告をいたします。

平成十五年、沼田秀人会長就任と同時にこの件についての発議がなされ、細萱忠敬司法書士事務所に専門的対応を委託し、名義借人相続権利者七十七名の方々の確定がなされました。

これを受けて、岳南会事務局により対応が図られてきましたが、教師としての職務を果たしながらの対応には限界もあり、結局、平成二十二年七月、沼田会長より本会副会長が専任すべしとの判断が示され、以後、精力的に対応した結果、紆余曲折はありましたが、平成二十三年四月、岳南会所有林三ヶ所六筆の地の沼田秀人岳南会長への名義変更登録が完了しましたので、ここに報告いたします。

詳しくは、左掲の「完了報告と御礼について」をご参照ください。（副会長・高見澤俊雄）

平成23年4月14日

岳南会（長野県野沢北高校同窓会）所有林
名義借人相続人及び関係者 各位

岳南会 会長　沼田　秀人

岳南会所有林 名義変更手続き の 完了報告と御礼について

謹啓，‘花の便り’も，日毎，北上する中，貴台におかれましては，愈々御清栄のこととお慶び申し上げます。

この3月には，想像を絶する規模の東北･関東大震災に遭遇し，だれもが心を痛めておるところですが，被災された方々に心からお見舞い申し上げるとともに，健康に留意されながら，復旧復興に向け踏み出されるよう願っています。

さて，昨年，7月以来，標記の件につきまして取組みを始め，10月以降，名義借人6人の代表者の方々をお願いして，77名の相続人権利者の方々への事情説明をしていただきながら，本会依頼の細萱忠敬司法行政書士事務所より郵送にて，岳南会からの‘事情説明書’と，些少ではありましたが‘必要経費’をお送りし，長野地方法務局佐久支局での名義変更に必要な書類（「遺産分割協議書」＜実印押印＞と「印鑑証明書」一通）の提出をお願いしてまいりました。

その結果，多少の紆余曲折はありましたが，今年に入りまして，3月23日〈水〉に，名義借人相続人権利者77名の方々からの上記必要書類の提出が完了しました。この間，対応が長引いたこともあり，名義借人6人の後継代表者にお願いした方々の「印鑑証明書」の効力失効が生じ，再提出をお願いして，直ちに，細萱事務所により，長野地方法務局佐久支局での名義変更の手続きに入り，お蔭様にて，4月13日〈水〉，全ての手続きを完了することができました。

思えば，昭和15年，旧制長野県野沢中学校創立40周年記念として，岳南会（同窓会）が，将来の図書館建設の一助にと購入しました山林が，諸般の事情で，所有者の名義変更がなされぬまま，時が流れ，この度，ある日，突然，連絡を受けられました名義借人相続人の方々の驚きと戸惑いは，察するに余りあるものと思いますが，それにも拘わらず，皆様，当方のお願いをご理解くだされ，ご協力いただきましたことに，満腔の敬意と感謝を捧げるものであります。

特に，各家代表者の方々と側面からご助力くださいました方々に厚く御礼申し上げます。誠に有難うございました。

念のため，次に，その結果をお示しします。

「岳南会所有林 相続権利委譲 一覧」（敬称略）

	［所在地］	［面積］	［名義借人］		［代表者（相続人）］		［最終名義登記者］
(1)	佐久市大沢字新田居村 3,637	8,041㎡	中澤睦次郎	→	中澤　武雄（11人）	→	沼田秀人岳南会長
(2)	佐久市大沢字新田居村 3,761－1	4,857㎡	中澤睦次郎	→	中澤　武雄（11人）	→	沼田秀人岳南会長
	佐久市大沢字新田居村 3,761－4	211㎡	中澤睦次郎	→	中澤　武雄（11人）	→	沼田秀人岳南会長
	佐久市大沢字新田居村 3,761－5	498㎡	中澤睦次郎	→	中澤　武雄（11人）	→	沼田秀人岳南会長
	佐久市大沢字新田居村 3,761－7	354㎡	中澤睦次郎	→	中澤　武雄（11人）	→	沼田秀人岳南会長
(3)	佐久市大字小宮山		［名義借人］		［代表者（相続人）］		［最終名義登記者］
	字鎌取場 1,556－3	6,709㎡	半田正一郎	→	半田　綾子（10人）	→	沼田秀人岳南会長
			荻原　健蔵	→	荻原喜久雄（12人）	→	沼田秀人岳南会長
			市川彦次郎	→	市川　　裕（ 3人）	→	沼田秀人岳南会長
			野沢司馬作	→	野沢　潤子（ 7人）	→	沼田秀人岳南会長
			並木　三郎	→	並木　隆弥（34人）	→	沼田秀人岳南会長

これからは，折に触れて，この所有林にかけた大先輩方の思いを，後輩の生徒諸君に伝えてまいる所存です。

以上，お手間とお手数をおかけしたことをお詫びし，ご協力に感謝申し上げ，ご報告及び御礼とさせていただきます。

末筆ながら，関係各位の益々のご健勝とご多幸をお祈りいたします。　敬具

岳南会中高一貫教育研究委員会　経過報告

平成二十三年の一年間、本委員会は三回（二・六・九月）開催され、四回目を十二月に持つ予定である。この間、八月に岳南会代議員会にて経過報告を行なった。

先ず、県レベルでの中高一貫教育の進捗状況であるが、平成二十四年開校予定の屋代高校附属中学校では、入学者選抜説明会が十月八日に更埴文化会館で開催され、児童・保護者八百名が参加、関心の高さが示された。そして、十一月十五日～十七日に志願受付が行なわれ、定員八十名に五一四人が応募し、六・四〇倍の倍率となった。この後の日程は、十二月十日に適性検査と面接が実施され、十二月十九日に合格発表が行なわれることになっている。

本委員会は、このような県内状況を踏まえながら、少子化に伴う県教委の普通科高校再編計画の動向把握に努め、屋代高校及び諏訪清陵高校の県中高一貫教育モデル校の次に予想される東信地区中高一貫教育校設置に対応できる研究準備を重ねている。

このため、第八回研究委員会（六月）に於いて、従来の五名の委員に加えて、新たに左掲の三名の委員（敬称略）を委嘱した。

吉岡　徹（五七回生・大沢）
小林忠三（六十回生・根岸）
篠原秀郷（六五回生・小海）

現在、母校の将来ビジョンと対応の進め方を研究している。

ある冬の日の体育の授業風景

選手壮行会

クラブ活動報告（主な結果のみ）

運動班

☆ 野球班
第92回高校野球選手権大会2回戦敗退 対飯山 2－9

☆ 陸上班
渡辺慎吾　ハンマー投げ
小林直哉　三段跳び
春季　県大会　5位、6位
北信越大会出場
小林　涼　110ｍＨ、400ｍＨ
秋季　県大会　優勝、3位
北信越大会 400ｍＨ2位

☆ 女子ハンドボール班
秋季　県大会　準優勝

☆ バドミントン班
赤羽根・上原組
秋季　県大会　3位

☆ 男子テニス班
春季　県大会ベスト8

☆ 男子ハンドボール班
春季　県大会ベスト8

☆ 男子ソフトテニス班
春季　県大会ベスト16

☆ 水泳班
男子総合（磯田、小林、黒岩、高見澤寿、平林、髙見沢光、浅岡、佐々木）
春季　東信大会　1位
磯田秀馬 平泳ぎ100ｍ 平泳ぎ200ｍ
春季　北信越大会出場

☆ サッカー班
春季　県大会ベスト16

☆ 山岳班
秋季　東信大会　優勝

文化班

☆ 将棋班
武井優芽（全国大会出場）
女子団体（県大会準優勝）

☆ 英語班
清水美月、曽根奏子
（レシテーション・英語朗読県大会3位、4位）

☆ 美術班
大井麻由、小林藍、佐々木美優
県高校美術展出展

☆ 陸上班
上原　聡太（2年）
11月開催第60回長野県縦断駅伝に全佐久チームの高校生ランナーで出場

☆ バイクトライアル
甘利　大斗（1年）
自転車で岩場などの障害物を乗り越える競技の全日本選手権「一般の部」でランキング1位を獲得した。
世界選手権では高校生の部で5位に入った。

優勝した甘利君（中央）

平成23年 会務報告（岳南会総会H23.1.5以降、事務局把握分抜粋）

1/5 第1回三役会・第1回代議員会
平成 23年岳南会総会・佐久グランドホテル・参加者約 170名・公演テノール歌手倉石真氏(84回卒)
1/12 長野支部総会開催・参加者 66名　会長・事務局出席
1/29 中込支部総会開催・参加者 24名　会長・事務局出席
2/24 **第7回中高一貫教育研究会開催**
3/5 ①野沢北高校卒業式が挙行され会長・副会長3名が出席
②臼田町支部総会開催・参加者 15名　事務局出席
3/23 野沢北高教職員送別会が行われ会長・副会長3名が出席
3/27 小海町支部総会開催・参加者 10名　会長・事務局出席
4/3 関西同窓会開催（岳南会・鈴蘭会共同開催）大阪弥生会館
輪番で本年度は北高が当番に当たり事務局長碓井出席・参加者は 18名内7名が南高
4/5 野沢北高入学式・会長・副会長3名が出席
4/13 **岳南会所有林名義変更手続き完了**
4/20 野沢北高教職員歓迎会開催・会長・副会長3名出席
4/21 PTA三役会で内規に従い岳南塾費決算報告の承認を得た
4/22 佐久町支部総会開催・参加者 20名・高見澤副会長・事務局出席
4/24 岳南会名簿作成を株式会社サラト契約（前回もサラトが作成）
5/23 第2回三役会・学校所有林視察
6/4 ①東京岳南会開催・今回から会場は日本教育会館で実施・会長、学校長、事務長、事務局長出席・新会員5名参加・会員 100名参加
②御代田支部総会開催・参加者 11名・副会長小宮山先生が支部会員として出席
6/5 **第11回戦没者慰霊追悼式**・約 30名参列・会長・3名の副会長・学校長・事務局長参列・柳田佐久市長も参列
6/10 **第8回中高一貫教育研究会開催**
6/11 小諸支部総会開催・参加者 20名・会長、学校長、事務局出席
6/24 前山支部総会開催・参加者 14名・事務局出席
6/25 桜井支部総会開催・参加者 30名・事務局出席
7/3 岸野支部総会開催・参加者 16名・同窓職員金子出席
7/7 英語科須澤（山崎）紀子先生産休育休に入り篠原節子先生（68回卒）着任
8/6 76回卒「卒業 30周年記念同窓会」佐久グランドホテルにて開催・会長、学校長来賓として出席
8/27 第2回代議員会開催・参加者 32名
9/9 ①**第9回中高一貫教育研究会開催**
②社会科平林達也先生ご退職
9/12 平林先生の後任として松本豊明先生着任
9/30 野沢北高校の職業別名簿発刊の往復葉書が届けられている情報を入手、野沢北高校の公式ホームページ同窓会に岳南会とは一切関係のないものであることを掲載し注意を呼びかける
10/15 57回卒「卒業 50周年記念同窓会」開催
11/10 東支部総会開催・参加者 12名参加・事務局出席
12/2 岳南会会計監査実施
12/4 野沢支部代表者会開催・参加者9名・同窓職員中田先生出席
12/9 第3回三役会開催
12/16 **第10回中高一貫教育研究会開催**

平成24年 今後の会務計画（案）

1．平成 24年　岳南会総会
平成 24年1月5日(木)・佐久グランドホテル
2．各支部総（各支部計画による）
3．代議員会（1月5日・8月の最終土曜日）
4．役員会（3回…6月、8月、12月）
5．岳南ニュース第 23号発行、協力金依頼（12月下旬）
6．岳南会所有林視察（6月）

平成23年 岳南会会計決算書

平成22.12.1～23.11.30

収入総額 12,735,679円　支出総額 9,971,694円　差引残高 2,763,985円

【収入の部】

項　目	収入決算	備　考
繰越金	6,907,786	
入会金	1,440,000	6,000 円× 240 人（入学生）
卒業生終身会費	1,415,000	5,000 円× 283 人（H23 年 3 月卒業生）
総会会費	495,000	5,000 円× 99 人
代議員会等会費	20,000	役選会議（2,000 円× 6 人）、三役会（2,000 円× 4 人）
岳南会館維持管理費	543,750	750 円× 725 人
岳南会活動協力金	1,898,880	1,000 円（1 口）× 2,084 口、1,699 人
雑収入	15,263	預金利子、百年史、敷地料等
合計	12,735,679	

以上、相違ありません。
平成 23 年 12 月 2 日
会計監査　竹内　健　㊞
臼田善和　㊞
白井正幸　㊞

【支出の部】

項　目	支出決算	備　考
会報発行費	1,655,967	会報印刷費、封筒、郵送料、会報編集料等
総会費	998,147	会場費、懇親会費、講師謝礼等
会議費	258,857	役員会、代議員会、会計監査等
支部会議費	368,920	祝儀、旅費等
慶弔費	492,933	餞別、香典、卒業証書筒、校章バッジ、花束代、横断幕代等
財産管理費	60,750	固定資産税、山林管理等
クラブ等後援費	315,220	全国大会補助、広告料等
進路指導補助費	200,000	
岳南塾補助	500,000	
会館維持費	675,464	会館電気料、会館電話料、会館修理費等
事務費	84,371	会館雑貨、事務用品、ハガキ、封筒、コピー用紙、封筒印刷、切手等
予備費	4,361,065	岳有林名義変更諸経費、岳有林登記料、扇風機設置費等
合計	9,971,694	

紙面の都合で、平成 24 年岳南会会計予算案は割愛させていただきました。

進路指導室から

平成二十三年三月の、大学等合格者数は表の通りです。

七クラスの生徒が大学入試にチャレンジしました。卒業生の進路は国公立大学進学、私立大学進学、浪人がそれぞれ三分の一というのは大まかな状況です。

◎大学入試の状況

長引く不況と少子化の影響で国公立大学および地元志向が高まり、信州大学の合格者はここ数年で最高となりました。また医療系・教育系など資格の取得できる学部学科の志望が高まりました。

◎「岳南大学」の実施

生徒が将来の進路を考え、興味を持つ学問や職業は何かを自覚することを目的に今年度より本格的にキャリア教育が始まりました。本校では一連のキャリア教育を「岳南大学」と命名し系統的に実施しました。一年では各分野の大学生・社会人講演会、二年では信州大学・群馬大学オープンキャンパスを岩村田・野沢南三校合同で実施、一年二年は十四学部の大学模擬講義、三年では推薦入試面接講習会を実施しました。

これからも「岳南大学」の行事を通じ、生徒が将来の夢を考えることで、日々の学習や生活に取り組むことができるよう係として指導を深めていきたいと思います。

同窓生のみなさまの、母校への温かいご理解と御援助に感謝を致すと共に、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

日輪祭ファイヤーストーム

大学合格状況 (2011.5.1 現在)

卒業生数		国公立大学	私立大学	外国大学	大学計	公立短大	私立短大	短大計	各種/専修	総計
283	現	110	271	0	381	17	2	19	7	407
	浪	38	114	0	152	2	2	4	2	158
	計	148	385	0	533	19	4	23	9	565

国立大学合格者数

大学名	現	浪	計
北海道	2		2
北海道教育		1	1
室蘭工業	1		1
東北	5		5
秋田	1		1
山形	1	1	2
茨城	1	2	3
筑波		1	1
宇都宮	1	1	2
群馬	6	1	7
埼玉	8	1	9
千葉	3	3	6
東京医科歯科		1	1
東京外語		1	1
東京学芸		1	1
東京農工	1	1	2
一橋	1	1	2
横浜国立	2		2
上越教育	1	1	2
新潟	3	2	5
富山	3	3	6
金沢	1	2	3
山梨	3	2	5
信州	33	3	36
(人文)	5		5
(教育)	5	3	8
(経済)	4		4
(理)	2		2
(医)	5		5
(工)	7		7
(農)	1		1
(繊維)	4		4
静岡	3	1	4
京都	1	1	2
京都工芸繊維		1	1
奈良女子	1		1

公立大学／準大学合格者数

茨城県立医療	1		1
群馬県立女子		1	1
高崎経済	10		10
前橋工科	1		1
埼玉県立		1	1
首都大東京	4		4
横浜市立	1	1	2
新潟県立		1	1
新潟県立看護	1		1
福井県立	1		1
山梨県立	2		2
長野県看護	2		2
静岡県立	1	1	2
三重県立看護	1		1
広島市立	1		1
高知工科		1	1
防衛大学校	1		1
国立看護大学校	1		1

国公立短大合格者数

大学名	現	浪	計
川崎市立看護短大	7		7
長野県短大	3	1	4
静岡県立大学短大	7	1	8

主な私立大学合格者数

中央	15	9	24
法政	15	6	21
日本	12	5	17
明治	8	9	17
神奈川	12	1	13
文教	8	3	11
芝浦工業	7	3	10
東洋	9	1	10
青山学院	4	5	9
駒澤	6	3	9
立教	6	3	9
早稲田	6	3	9
立命館	6	3	9
千葉工業	8		8
北里	3	5	8
高崎健康福祉	7		7
慶応義塾	3	4	7
専修	5	2	7
東京理科	2	5	7
日本福祉	1	6	7
国際医療福祉	5	1	6
大東文化	6		6
帝京	6		6
東海	3	3	6
東京経済	4	2	6
杏林	4	1	5
東京家政	2	3	5
明星	4	1	5
明治学院	2	3	5
つくば国際	4		4
城西	4		4
東京工科	4		4
関東学院	2	2	4
中京	3	1	4
群馬パース	3		3
國學院	2	1	3
国士舘	3		3
津田塾	2	1	3
日本女子	2	1	3
桐蔭横浜	3		3
新潟医療福祉	2	1	3
佐久	2	1	3
岐阜聖徳学園	1	2	3
静岡理工科	3		3
自治医科	2		2
獨協医科	2		2
獨協	2		2
帝京平成	2		2
亜細亜	2		2
昭和女子	1	1	2
成蹊	2		2

帝京科学	2		2
東京医療保健	2		2
東京電機	1	1	2
東邦	1	1	2
日本医療科学	2		2
麻布	2		2
藤田保健衛生	2		2
同志社		2	2
関西		2	2
東北学院	1		1
東北薬科		1	1
上武	1		1
尚美学園	1		1
桜美林	1		1
大妻女子	1		1
学習院	1		1
工学院	1		1
産業能率	1		1
実践女子	1		1
順天堂	1		1
上智		1	1
昭和薬科		1	1
成城	1		1
大正	1		1
拓殖	1		1
東京薬科	1		1
二松学舎	1		1
武蔵野	1		1
立正	1		1
相模女子		1	1
金沢工業	1		1
常葉学園		1	1
愛知		1	1
名古屋外国語		1	1
名古屋学芸	1		1
名古屋学院	1		1
京都文教	1		1
関西学院	1		1
東北芸術工科	1		1
東京女子医	1		1

外国大合格者数

外国大学			0

私立短大合格者数

國學院栃木短	1		1
青山学院女短		1	1
上田女短	1		1
愛知学院大短		1	1

専門学校合格者数

医療系	3	2	5
その他	4		4

事務局だより

岳南会会員名簿発刊について

①岳南会会員名簿は株式会社「サラト」と契約をしています。学芸出版（株）が長野県野沢北高等学校「職業別名簿」を作成しようとしていますが、これにつきましては岳南会・野沢北高等学校とは一切関係ありませんのでご注意下さい。

②岳南会会員名簿がより有効に活用されるように班活動のOB会を掲載していますので掲載希望のある組織・団体は事務局まで問い合わせをお願い致します。ただし、同期会はご遠慮下さい。

③サラトから掲載の通知が届くと思いますがよろしくお願い致します。

岳南ニュース郵送について

同封の協力金は、岳南会の重要な運営資金になっていますので何卒、ご協力頂きたくお願い致します。

編集後記

昨年は大震災が起こり多難な年でした。多くの岳南会々員の絆のおかげで22号を無事発行する事ができ、感謝申し上げます。

創立百十周年の誇りを胸に、現役北高生も着実にがんばっています。生徒会が中心になって日輪祭で被災地支援の取り組みを行いました。困難な時にこそ新しい希望が生まれるもの、と信じています。